

事務事業評価表

○基礎情報

課名		安全対策課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	33	市民生活の安全を確保する	梅原 正史	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	6 人	1 人	0 人	0 人	3,430 時間	47.6 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画 の現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
交通事故発生件数	571件	547件	675件	571件	534件	514件
身近で起きている犯罪発生件数	805件	800件	909件	805件	651件	601件
交通安全教室の実施回数	158件	170件	149件	158件	174件	170件

(評価の見方)

- ・ **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ **C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ **Z** 未着手事業
- ・ **実績** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
なし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点			H28決算 (単位:円)					
1	防犯灯LED化による防犯対策事業	LED化により維持管理経費及びCO2排出量の削減を図り、地球にやさしいまちづくりの実現を目指す。	政策的事業	●		●	0.63	一般	5,402,000 ----- 5,400,000	LED防犯灯の維持管理灯数	14,300灯	14,781灯	S	●
2	自転車駐車場修繕事業	施設の老朽化に対する必要な補修や緊急的な故障等に対し修繕を実施し、自転車駐車場の安全な利用を目指す。	政策的事業				0.05	一般	0 ----- 0	自転車駐車場の開場日数	362日	362日	S	
3	自動車駐車場修繕事業	施設の老朽化に対する必要な補修や緊急的な故障等に対し修繕を実施し、自動車駐車場の安全な利用を目指す。	政策的事業				0.02	一般	0 ----- 0	自動車駐車場の開場日数	365日	365日	S	
4	地域防犯活動推進事業	地域防犯活動団体の育成、支援することにより、地域の防犯力を高め、安全で安心なまちづくりを推進する。	定例・定型の事業	●			0.18	一般	1,149,000 ----- 1,108,322	防犯活動団体数	70団体	77団体	S	
5	防犯灯設置による防犯対策事業	防犯灯新設の要望を自治会単位で集約し、最適地を選定することにより、夜間の犯罪防止と交通安全を確保する。	定例・定型の事業	●			0.80	一般	75,001,000 ----- 43,721,727	防犯灯の新設数	90灯	77灯	S	
6	街頭防犯通報システム維持管理事業	街頭防犯システムを効果的な場所に設置することにより、地域防犯力を高める。	定例・定型の事業				0.05	一般	486,000 ----- 479,306	設置台数	2台	2台	S	

7	交番設置要望に係 わる事務	交番を設置することにより、地域の 実情に応じた防犯力を高め、安全で 安心なまちづくりを推進する。	定例・定型的事業				0.05	一般	0 ----- 0	要望及び協議の実施回数	1回	1回	S	
8	暴力団排除条例の 広報・啓発活動事業	暴力団排除に関する施策の総合的な推 進を図り、安全で安心して暮らすことので きる社会の実現を目指す。	定例・定型的事業				0.11	一般	0 ----- 0	講習会の開催	年1回	年1回	S	
9	防犯関係団体育成 事業	団体の活動支援及び育成を行い、 防犯活動を促進し、防犯意識の高揚 を図る。	定例・定型的事業				0.14	一般	435,000 ----- 435,000	会議参加	2団体	2団体	S	
10	違法駐車等防止啓 発活動事業	違法駐車を防止することにより、安全 で良好な歩行空間を確保し、安全 で快適な市民生活の実現を目指す。	定例・定型的事業				0.23	一般	3,461,000 ----- 3,266,352	巡回指導日	107日	99日	S	
11	自転車駐車場管理 運営事業	放置自転車の減少のため駅周辺におけ る自転車駐車場を運営し、交通環境及び 居住環境の向上を目指す。	定例・定型的事業	●			0.35	一般	64,785,000 ----- 64,153,846	モニタリング回数	年12回	年12回	S	
12	自転車駐車場施設 整備事業	茅ヶ崎駅南口の自転車駐車場の不足 を解消するため、自転車駐車場を 整備する。	定例・定型的事業				0.29	一般	0 ----- 0	民間からの要請数	4,500台	4,617台	S	
13	自動車駐車場管理 運営事業	茅ヶ崎駅周辺や茅ヶ崎海岸を利用、来訪 する市民等に対して、安心して駐車でき る場所を確保するため、違法駐車対策を 実施する。	定例・定型的事業	●			0.51	一般	4,575,000 ----- 4,528,095	月次報告の評価回数	12回	年12回	S	
14	駐車場法に基づく路 外駐車場に係る届 出等	駐車場法に基づく届出により道路交 通の円滑化を図り、公衆の利便や都 市機能の維持、増進を図る。	定例・定型的事業				0.09	一般	0 ----- 0	申請件数	年1件	年2件	S	
15	特定開発事業にお ける指導業務	開発業者等に対し、条例に基づく指導 を行い、良好な居住環境を形成し、秩序あ るまちづくりの推進を図る。	定例・定型的事業				0.38	一般	0 ----- 0	申請件数	65件	89件	S	
16	放置自転車対策事 業	安全で良好な歩行空間を確保し、交 通の円滑化を図るとともに、安全で 快適な市民生活の実現を目指す。	定例・定型的事業		●	●	0.46	一般	45,443,000 ----- 43,372,167	放置自転車の削減	2,250台	1,876台	S	●
17	交通安全教育事業	幼児から高齢者まで年代に隙間の ない交通安全教育を実施することによ り、市民生活の安全を確保する。	定例・定型的事業	●	●		0.80	一般	7,318,000 ----- 7,353,284	交通安全教室受講者数	20,550人	22,135人	S	
18	交通安全啓発事業	交通安全運動や市民総ぐるみ運動推進 大会等啓発事業を実施し、気運を高め るとともに交通安全対策を促進する。	定例・定型的事業				0.55	一般	1,384,000 ----- 1,215,248	交通安全啓発事業回数	25回	47回	S	
19	交通安全対策事業	警察及び関係各課等関係機関と検討・ 協議し、適切な交通安全対策を講じるこ とにより、交通事故防止を促進する。	定例・定型的事業				0.49	一般	1,225,000 ----- 684,234	交通安全警告・注意看板の 作成・設置	150	109枚	S	
20	交通安全関係団体 育成事業	団体の活動支援、育成、自治体間の会 議を開催することにより、交通安全活動 を促進するとともに意識の高揚を図る。	定例・定型的事業				0.05	一般	1,173,000 ----- 1,172,700	交通安全関係団体	2団体	2団体	S	
21	交通安全計画の推 進	交通環境を良好に保持することによ り、交通事故を防止し、交通事故死 亡者を限りなくゼロに近づける。	定例・定型的事業	●			0.34	一般	10,000 ----- 10,000	庁内・庁外評価の意見のとり まとめ	年1回	年1回	S	

22	交通指導員の活動 推進事業	交通指導員の活動を支援し、交通安全意識の高揚を図り、市民の生命の安全を確保する。	定例・定型的事業				0.25	一般	7,895,000 ----- 6,955,123	委嘱人数	90人	65人	A	
23	通学路安全対策事業	電柱に通学路巻き標識を設置することにより、ドライバーに注意を促し、事故防止を図る。	定例・定型的事業				0.49	一般	1,361,000 ----- 1,360,368	通学路表示板の設置(取替え)枚数	290枚	268枚	S	
24	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.07	一般	0 ----- 0	-	-	-		
25	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				0.53	一般	0 ----- 0	-	-	-		
合計							7.90	予算 決算 繰越	221,103,000 ----- 185,215,772 ----- -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>安全対策課の平成28年度における事業数は25事業であり、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除くと23事業である。</p> <p>これらの事業の評価結果は、「S」22事業、「A」1事業となっており、すべての事業で成果を出すことができた。なお、事業実績のうち「No.19 交通安全対策事業」については、目標値に対し実績値は80%に達していないが、地域からの看板の設置要望のうち設置可能な箇所についてすべて対応していることから「S」評価とした。</p> <p>施策指標に対する目標値については、現状ですべて達成することができ、各事業が順調に実施できたと考えているが、30年度に向けて今後も各事業に積極的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>職員の時間外勤務については、総時間で3,430時間、一人あたり月平均で48時間となり、27年度と比較して総時間は減少したものの、一人あたり月平均では上回る時間数となった。これは、特定開発事業の申請件数の増加、まちづくり条例の改正に伴う事務、自動車駐車場の管理に係る業務、ESCO事業の契約等に係る事務、交通安全計画の策定に係る事務、各種啓発活動の拡大等により一人ひとりの負担が増加したためと考えている。今後は課内のコミュニケーションを図りながら、事務改善を進める必要がある。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
1	防犯灯LED化による防犯対策事業	ESCO事業を活用し、市が管理するすべての防犯灯のLED化を行い、維持管理経費及び二酸化炭素排出量の削減を図ることができた。また、LED化をする防犯灯の選定業務、交換に係る個別の支払い業務や防犯灯管理台帳のシステム化による事務の軽減については、29年度以降に効果が表れると考えている。
16	放置自転車対策事業	駅周辺の放置自転車の即日撤去を行う場所を増やすことにより市民及び駅周辺に自転車で来訪する人々の意識を高め、放置自転車の台数をさらに減少させ、回収台数を減らすことにつなげるため、茅ヶ崎駅南口駅前の放置自転車の即日撤去を実施した。その結果、市民からの放置自転車撤去依頼の連絡及び放置自転車の減少が見られた。

5 新たな行政改革重点推進事業（本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます）

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-